

## # I C Tで未来を創る私の仕事

### 文系出身から I C Tの世界へ ～地域に根ざした技術で未来を拓く～

株式会社オスポック 開発本部 第二公共システム部 吉澤 磨七花 さん  
インタビューアー 沼田 弦輝 さん

吉澤磨七花さんは、高校卒業後に I C Tの世界へ飛び込み、現在は株式会社オスポックで自治体向けシステムの開発・運用・提案に携わっています。文系出身ながらも現場理解と対話を重視し、地元・十日町への貢献を目指す吉澤さんに、仕事のやりがいや今後の展望について伺いました！

#### 沼田 I T業界に進もうと思ったきっかけは？

吉澤 高校卒業後の進路を考える中で、「地元の十日町で働きたい」という気持ちがまずありました。生まれ育った地域に貢献できる仕事がしたいと思っていました。もう一つは、パソコンを使った仕事に興味があったこと。文系出身で I Tの専門知識はありませんでしたが、パソコンに触れることが好きだったので、この分野なら自分の興味を活かしながら地元にも貢献できるのではと思い、弊社への就職を決めました。



吉澤 磨七花さん

#### 沼田 現在、どのような業務を中心に取り組まれていますか？

吉澤 自治体向けのシステム開発を中心に、運用・保守や提案業務にも携わっています。具体的には、電子入札、契約などの業務システムの設計・開発、導入後の安定稼働を支える保守対応、そしてお客様の課題に応じた改善提案などです。主要取引先であるシステム開発会社を通じて自治体とやりとりすることも多く、調整や導入支援まで幅広く担当しています。

#### 沼田 特に印象に残っている仕事はありますか？

吉澤 県外政令指定都市へのシステム導入が特に印象に残っています。庁舎の規



模がとにかく大きくて圧倒されました(笑)。でも、現場の職員の方々と丁寧に話を重ねる中で、業務内容や使い方の細かい部分まで理解することができ、「本当に使いやすいとは何か」を考える視点が身についたと感じています。

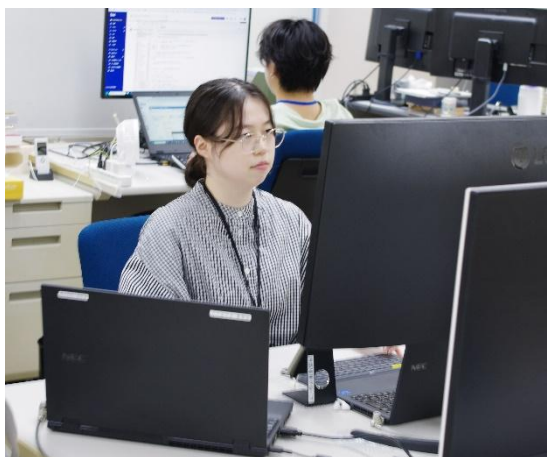
行政のシステムは一度決まると変更が難しいため、最初の設計段階で先の運用まで見据えて提案することが重要だと学びました。現場の声をもとに設計に反映できたことは、自分にとって大きな経験になりました。

**沼田** お客様のニーズに最大限応えようとする印象を強く受けました。ニーズに応えるために社内で大切にしていることは何ですか？

**吉澤** 現場の業務を理解することを何よりも大切にしています。行政には特有のルールや制約がありますが、職員の方々が日々どんな業務をしているのかを知ること、より使いやすいシステム設計につながります。対話を通じて現場の声を聞き、それを仕様に落とし込むことが私の役割だと思っています。

業務の流れや背景を理解したうえで設計することで、実際に使う方々の負担を減らすことができますし、現場の方から前向きな反応をいただくと、自分の取り組みが少しでも役に立っていると実感でき、次の業務にも丁寧に向き合おうという気持ちになります。

**沼田** 今後のIT業界では、どのような人材が求められるとお考えですか？



お仕事風景

**吉澤** ITの世界は、日々目まぐるしく進化しています。こうした変化の激しい業界では、特に「自ら情報を取りに行き、学び、変化していく姿勢」が求められると思います。私自身、主にニュースを通じて情報収集を行い、必要な知識を得るようにしています。時代の変化を敏感に感じ取るためにも、日常生活の中でアンテナを高く張り、積極的に情報を集めることが大切だと感じています。



**沼田** ご自身で挑戦していきたいことや、描いている未来像を教えてください。

**吉澤** プログラミングは得意とは言えませんが、だからこそ基礎からしっかり学び、開発現場でより価値を出せるようになりたいと考えています。社内には技術力の高い先輩や上司が多く、私もそのレベルに少しでも近づけるよう努力を続けてい

ます。日々の業務の中で経験を積みながら、知識やスキルを着実に身につけていきたいです。

また、自治体や業者との調整力も磨き、プロジェクト全体を前に進める役割にも挑戦したいと思っています。技術とコミュニケーションの両面で成長し、より信頼される存在になれるよう頑張っていきたいです。

**沼田 地元である十日町への思いを教えてください。**



株式会社オスポック本社

**吉澤** 十日町は、私にとって「人と一緒に楽しめる、あたたかい場所」です。おいしい飲食店が多く、仲間や友人と気軽に集まれるスポットがあるのが魅力ですし、ゴルフ場などのレジャー施設も充実していて、休日をのびのび過ごせます。さらに、四季折々の自然が本当に美しく、日々の風景に癒やされます。こうした魅力に支えられながら、地元に貢献できる仕事を続けていきたいと考えています。

**沼田 最後に、学生に向けて、ITの可能性や魅力について一言お願いします。**

**吉澤** ITはすでに私たちの暮らしのそばにあり、これからもっと当たり前になっていきます。今後はどの分野においてもITの力が求められるようになり、IT企業に勤めることで活躍できる場や機会も大きく広がっていくと思います。私自身、文系出身で不安もありましたが、挑戦してみたことで新しい世界が見えてきました。最初の一步を踏み出すのは勇気がいるかもしれませんが、ITの道には可能性がたくさんあります。



お仕事風景

ぜひ、自分の興味や関心を大切に、進んでみてはいかがでしょうか。

令和7年9月9日インタビュー

※社名、所属等はインタビュー時現在です。

企画・政策：新潟県知事政策局ICT推進課・新潟県ITC推進協議会

